

## 第5学年 算数科学習指導案

1 単元名 平均とその利用

2 単元設定の理由（指導の立場）

3 単元目標

測定した結果を平均する方法やその利用について、平均の意味を理解することや概括的にとらえることに着目することにより、学習や日常生活に生かすことができる。

4 単元の評価規準

○平均を用いることよき気付き、進んで身近な事柄の考察や表現に用いようとする。  
〈算数への関心・意欲・態度〉

○平均の考えを用いて、身近な事柄について考えたり、計算結果を小数で表すときや概数で表すときがあるといった測定値の表現の仕方を考えたりすることができる。  
〈数学的な考え方〉

○平均を求めたり、平均から全体を求めたりできる。また、それを用いて、長さなどの概測ができる。  
〈数量や図形についての技能〉

○平均の意味や平均の求め方を理解することができる。  
〈知識・理解〉

5 単元の指導計画（7時間扱い）

第1章 平均の意味・・・・・・・・・・1時間

第2章 0を含む平均・・・・・・・・・・1時間

第3章 平均から全体量を求める・・・・1時間

第4章 平均の利用・・・・・・・・・・3時間（本時3／3）

第5章 学習のまとめ・・・・・・・・・・1時間

6 本時案

(1) 題材名 平均の利用

(2) ねらい

いくつかの数の合計をより速く求める方法を、「数量を平らに均す」という平均の考えを活用することにより、説明できるようにする。

(3) 展開

学習活動	時	指導内容及び指導上の留意点	評価規準 (評価方法)																																			
1 学習問題と出合う。	10	<p>○学習問題を提示する。</p> <table border="1" data-bbox="592 696 1166 987"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td></tr> <tr><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td></tr> <tr><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td></tr> <tr><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>めあて： わくの中の数の合計を求めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師と児童でどちらが早く答えを出せるか競争する。</li> <li>・何度か他の場所に枠を置いて、同じように答えを求めさせる中で、より速く簡単に求めたいという意欲を持たせる。</li> <li>・教師は既習内容の「平均」を使って求めたことを伝える。</li> </ul> <p>○課題を提示する。</p> <p>課題： なぜ「平均」を使って合計が求められるのだろう</p>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31					
1	2	3	4	5	6	7																																
8	9	10	11	12	13	14																																
15	16	17	18	19	20	21																																
22	23	24	25	26	27	28																																
29	30	31																																				
2 計算のひみつを考える。 【個人】(JKタイム)  【グループ】	10	<p>○個人で計算のひみつを考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひみつを見つけるために、最初の枠をもとに考えていくことを確認する。</li> <li>・最初の枠が載ったシートを配布し、気づきをノートに書き込ませる。</li> </ul> <p>○グループで計算のひみつを考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自力解決での気づきをグループで共有させる。</li> <li>・話し合いの中で、参考になる友達の気づき</li> </ul>	真ん中の数が平均になっていることに気づき、合計を計算で求める説明ができています。(ノート・発言)【知識・理解】【数学的な考え方】																																			

<p>【全体】 3 まとめる。</p>	<p>7 8</p>	<p>は自分のノートに書き加えさせる。          ・ひみつがつけられそうにないグループにはヒントカードを渡す。          ・ホワイトボードにグループの考えをまとめさせる。          ○全体でグループの考えを説明・交流させる。</p>	
<p>まとめ： 真ん中の数が全体の平均になっているから、 平均×個数＝合計で求められる。</p>			
<p>4 学習を繰り返す。</p>	<p>5</p>	<p>○学習のまとめ・確認をさせる。          ・ICT を用いて、枠の真ん中の数が平均になっていることを視覚的に理解させる。          ・他の場所に枠を置いても、同じことがいえることを確認する。          ・縦や横の列（1列）の枠でも同じことがいえることを確認する。          ○繰り返しの視点カードを提示し、本時の学習を繰り返させる。          ・「授業で分かったことや、そこから考えたこと」「もっとやってみたいこと」などを書かせる。</p>	
<p>振り返り： この問題で平均が利用できることにおどろいた。 真ん中の数をはさんだ両端の数が、数のやり取りをしていた。 カレンダーには他にもひみつがあるかもしれない。</p>			
		<p>・振り返りを何名かに発表させ、学習の成果を共有する。</p>	